



- 仕事の紹介
- 沖縄県での取り組み事例
- Message

## 仕事の紹介

下水道施設は、県民の清潔で快適な生活環境を守り、川や海の自然環境を保全する重要な社会資本です。

沖縄県下水道課では、20年後の将来を見据えた下水道計画の立案や、施設建設や維持管理等を適切執行するため、年間約150億円以上の予算を取り扱っています。

また、各市町村の下水道事業に対して、助言や相談及び勉強会の実施なども行っています。

その他にも、下水処理水の再生水利用や処理過程で発生する消化ガスの有効利用等、循環型社会の構築に向けた取り組みも行っています。

災害発生時においても、県民が安心してトイレ等を利用できるように、県内市町村と連携して業務継続のための計画の立案も進めています。

このように下水道課の業務は、私たちの生活に必要不可欠な下水道システムの根幹に関わるものであり、重要でやりがいのある仕事です。



## 沖縄県での取り組み事例

再生水事業について、トイレ洗浄用水や散水用水などの雑用水だけでなく、ゆいレール牧志駅付近のさいおんスクエア広場で修景を目的に再生水が使用されています。

巨大シーサーのモニュメントから再生水が流れ出て、潤いある水辺空間を創出しています。

水不足による断水の際にも、安定的に供給できる水資源として、今後を期待される取り組みとなっています。



## Message



- 県民が快適な生活を送る上で、下水道施設が必要なのです。
  - 環境保全を意識し、公共施設を整備しましょう！
  - 若い皆さんに期待し、引き継いでいきたいと思えます！！
- 大城 勉  
普天間高校/琉球大学卒

1人1人の仕事の社会に対する影響が大きく、沖縄県の未来を担う価値ある仕事だと思います。

☆ 仕事への思い ☆